

哀愁漂う ギターの音色

木崎地区に暮らす坂井博文さんに出会いました。自宅の納屋に整然と並べられた工具の数々に驚かされます。坂井さんはかつて「Jアカみましき」に勤務し、長年技術者として農業機械の整備や修理などに携わってきました。定年後の今も、依頼があれば農機具の修理などを請け負っているそうです。

古い農機具を今も大切に使う人もおり、そこはベテランの坂井さんの腕の見せどころ。『機具がうっとまったけん、ちよいと来て』という依頼は多いです。そうして、便利に使ってもらえるならうれし



田端義夫さんの「かえり船」を演奏する坂井さん



楽譜を見ながら独学でギター演奏を覚えたという坂井さん

いです」と坂井さん。

そんな坂井さんの趣味はギター演奏。若い頃は知り合いで結成した楽団の一員として、祭りやイベントのステージに立ったそうです。「先輩たちから要求されるのが田端義夫や村田英雄、青木光一といったおじさん歌手の楽曲ばかり。当時の私の同世代の人気歌手が西郷輝彦や三田明、橋幸夫といった面々だっただけに、世代のギャップがきつかった」と苦笑しながら、思い出を振り返ります。

そこで一曲、坂井さんに演奏をリクエスト。照れながら披露してくれたのは田端義夫さんの名曲「かえり船」。

♪ 波の背に
揺られて揺られて ♪



農業機械を整備・修理する納屋には工具が整然と並べられています

坂井さんがつまびくメロディーはしみじみとして、哀愁が漂います。目を閉じて耳を傾けながら、遠き良き昭和の時代に思いをはせました。

亡き夫が 楽しみにした 広報ましき

赤井地区には豊富な水が湧き出ており、赤井水源もその一つ。こうした豊かな水に恵まれる理由には、14万年前に噴火した赤井火山の帯水層の被圧水が、旧火口の中を浸透して湧き出ているためと考えられます。赤井火山の火口跡は、赤井川近くの赤井城跡あたりから



赤井水源の水が流れる赤井地区の洗い場



赤井水源の隣にたたずむ赤井観音堂。益城三十三ヶ所めぐりの一番札所です

南へ直径約500坪の一带に及びます。

赤井水源近くに赤井観音堂があります。毎月1日と15日に、お堂の掃除や世話をしている一人が菊川洋子さんです。「毎朝、おかんのんさんに手を合わせます」と言う菊川さんは昨年春、仲むつまじく連